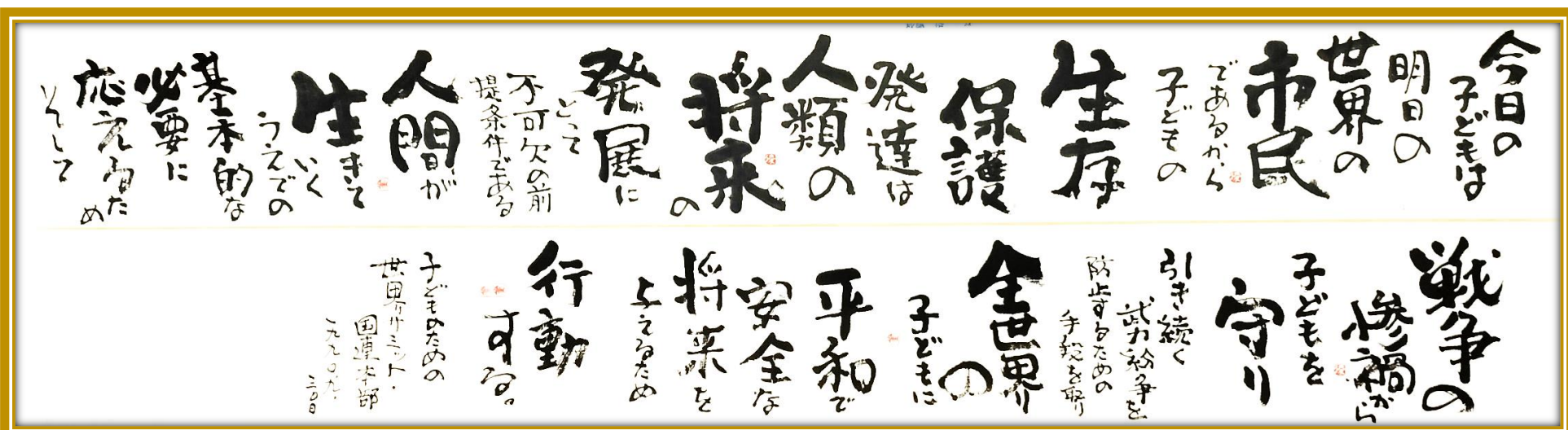




つくし保育園

ちゅうりっぷ保育園



上記は、伊東市池にお住まいの「秋藤 俊氏」がこどもの権利条約の批准に際し、書かれたものです。3部作になっていますが、紙面の都合上1部のみ紹介させていただきます。(4ページにも紹介)

ロシアのウクライナへの侵攻、罪のない子どもたちが命を奪われ、国を追われ、先の見えない状況が続いています。国内では、コロナのまん延、自民党と旧統一教会の関係が大問題となっています。この問題をみても、今の与党にこの国の方向や子どもの将来を絶対に託したくない！と怒りが湧いてきます。

今、保育所だけみても解決しなければならない大きな問題が山積みです。少子化問題、0歳児定員割れ問題、職員配置問題、監査の規制緩和等。私たちおとなは、未来を担う子どもたちのために、これらの諸問題を解決するため、声を出さなければいけないのではないのでしょうか。「どの子にも生きる権利がある」「子どもであっても人格がある」「一人の人間として大切にされる権利がある」ことを秋藤氏の書からも学びながら、再度「子どもの権利条約」をしっかりと学ぼうと改めて思います。

理事長 平澤幸子

子育て支援センターつくしんぼ

〔 伊東ショッピングプラザ デュオ 1F 〕





つくし歳時記

2021.8月～2022.7月

あき



お花苗植え



ふゆ



クリスマス会

はる



雪遊び



遠足



昆虫採集

なつ



つくしこまつり



トンネルくぐり

七夕



プールあそび



どろんこ遊び



つくし保育園

子どもたちの笑顔を守るために

コロナ禍の保育が3年目を迎えました。2年間は、行事の中止や制限をした中での保育中心でしたが、今年度は工夫しながらも行事を進めていこうと職員一同前向きに動き始めました。

しかしつくし保育園もコロナの影響があり、行事の延期をせざるを得ない状況が続いています。感染予防のため、職員はマスクを外せず、子どもたちはマスクを付けた顔の大人しか知らない子も多く、今後の子どもたちの感情表現にどう影響するのか?と不安になります。

また報道の中から流れるウクライナとロシアの戦争に子どもたちは、遊びの中で「侵略、攻撃」などの言葉を使い友だちと関わる姿があり心が痛む思いです。子どもたちに平和の大切さを知らせ相手を思いやる気持ちを育てていきたいと思ひます。

日々子どもたちと関わる私たちが、子どもに寄り添い、丁寧に対応しながら、子どもたちの笑顔が続いていよう保育したいです。



がんばって乗り切ろう



つくし保育園園長 澤井伊佐子

ちゅうりっぷ保育園

2018年7月開園の小規模保育所です

0歳児から2歳児のお子さんをお預かりする定員18名の小さな認可保育園です。住宅街の中にあるため「こんなところに保育園あったの?」とよく言われます。コの字型の園舎なので中庭があります。

小さな園庭ですが、すべり台、ブランコもあります。子どもたちは砂あそびや乗用玩具、夏は大きなプールで元気に遊んでいます。お散歩で丸塚公園や吉田公園も利用しながら活動しています。

新型コロナ感染の終息が見通せない現状ですが、子どもたちが安全に過ごせるように感染対策をしながら、できるだけ例年どおりの行事が行えるように保育の工夫をしています。少人数の良い面は大事にしながらつくし保育園との交流も深めていきたいと思ひます。

ちゅうりっぷ保育園園長 若原真奈美



子育て支援センターつくしんぼ

お問い合わせ ☎48-7749

どこにも入園していない子どもさんと保護者の方、妊婦さんが無料で遊べる場所です

小室山ミニ遠足



親子ヨガ



七夕飾り



バランスボール講座



夏祭りごっこ



歯科衛生士さんのお話会



小麦粉粘土あそび



楽しい行事がいっぱい!



こいのぼり



クリスマスリース



足型のくま



★月の予定はHP「つくしんぼだより」をご覧ください。

*月～金曜日 AM9:30～12:00
PM1:30～4:30
(土・日・祝・デュオ休業日・年末年始はお休み)
※12:00～12:30 感染症対策のための消毒時間

秋藤さんより書画をいただきました

ありがとう
ごいまりに

小さな声が歴史を創る

私たちにとっては、保育園は子育ての恩人だ。産休明けは無認可保育園、くじ引きに当たって公立保育園に通えるようになったが、閉演時間にお迎えができず帰宅までお世話をいただくママさんをお願いした二重保育時代が長く続いた。働く女性の増加と保育要求の広がった子育ては「家庭の責任」という政治的風潮から「子どもの権利としての発達保障を」ママさん達と保育者の共同は広がり今日の礎を広げる運動に発展してきた。

『子どもは遊びが仕事です 失敗するのも仕事です』
子どもは保育園に通い、子ども同士が関わりの中で成長する欲
びはママ達が一番実感します。親の指導がなくても成長発達する
姿が見えるのも保育園があつてこそ。親たちだって仕事の中では
失敗もある。自分を高める努力もそこから・・・。

子どもの権利条約が国連で決議されたのは1970年。日本の
母親たちはそれ以前から保育要求を掲げ勉強会を重ね自治体
や厚生省に陳情し実現を迫ってきた。小さな要求が政治を変え
る力になることを歴史は証明している。少子高齢化時代と言わ
れ社会の未来が見えない。
子どもは社会の子、子育てしやすい環境が必要だろう。

そうか我が娘も50越え。保育運動のおかげで、
子どもたち応援団の人生を過ごしている。
人は変化し発展する。その信念に揺れるぎなし。
池で米づくり・筆遊びも。

秋藤 俊



☆☆☆☆ INFORMATION ☆☆☆☆

アクセス

つくし保育園

ちゅうりっぷ保育園



伊東つくし会
ホームページアドレス

<http://ito-tsukushikai.or.jp/tsukushi/>



苦情解決報告

ご意見・ご要望(苦情)の解決に関してのご報告

- ・新型コロナ感染ついて1件のご苦情がありました。
- ・近隣からの要望が1件ありました。

2022年8月現在 苦情はありませんでした。